

平成 31 年 ・ 令和 元年

千葉県毎月常住人口調査報告書

年 報

千葉県

## は じ め に

千葉県毎月常住人口調査は、千葉県毎月常住人口調査要綱に基づき毎月実施しており、県内における出生者数・死亡者数並びに県内間及び県外との移動状況を調査し、千葉県人口及び世帯数を推計し毎月1日現在で公表しているところです。

この報告書は、平成31年1月から令和元年12月までの1年間の調査結果をまとめたものです。

本報告書が、各種行政施策等の基礎資料として広く御利用いただければ幸いです。

また、この調査の実施に当たり多大なる御尽力をいただきました県内の各市町村に対し深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年2月

千葉県総合企画部長 石川 徹

# 目 次

結果概要	1
統計表	
第1表 市区町村別推計人口	10
第2表 市区町村別自然動態(男女別)	14
第2表の2 市区町村別自然動態(日本人・外国人)	16
第3表 市区町村別社会動態(男女別)	18
第3表の2 市区町村別社会動態(日本人・外国人)	22
第4表 市区町村別世帯数	26
第5表 市区町村別県外との移動	28
第6表 月別・市区町村別人口推移	48
第6表の2 月別・市区町村別人口推移(第6表のうち外国人数)	52
第7表 月別・市区町村別世帯数推移	56
第8表 月別・市区町村別動態推移	60
第8表の2 月別・市区町村別動態推移(第8表のうち外国人数)	76
第9表 県外との移動(千葉県)	92
第10表 市区町村別県内からの転入	93
付録	
1. 年次別人口増減数及び動態別増減数等の推移	155
2. 都道府県別人口推移	156
3. 全国年齢別人口	158
4. 千葉県年齢別人口	159
5. 千葉県の人口重心	160
6. 千葉県毎月常住人口調査について	162
7. 千葉県毎月常住人口調査要綱他関係法令	166
8. 市区町村コード一覧表	180

## 利用上の注意

### 1. 千葉県毎月常住人口調査の人口推計方法について

千葉県毎月常住人口調査による各月1日現在の県及び市区町村別人口及び世帯数は、直近の国勢調査結果(5年ごとに調査)を基準とし、これに\*住民基本台帳による人口及び世帯の増減数を加算して集計している。当年報は、平成27年国勢調査(平成27年10月1日現在)を基準としている。

※平成24年7月9日から住民基本台帳の一部を改正する法律が施行され、外国人住民についても住民基本台帳法の適用対象に加えられた。外国人登録制度は新しい在留管理制度の導入により廃止された。

### 2. 面積について

県及び市区町村の面積は、令和元年10月1日現在、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。



# 結果概要

## 1. 人口総数

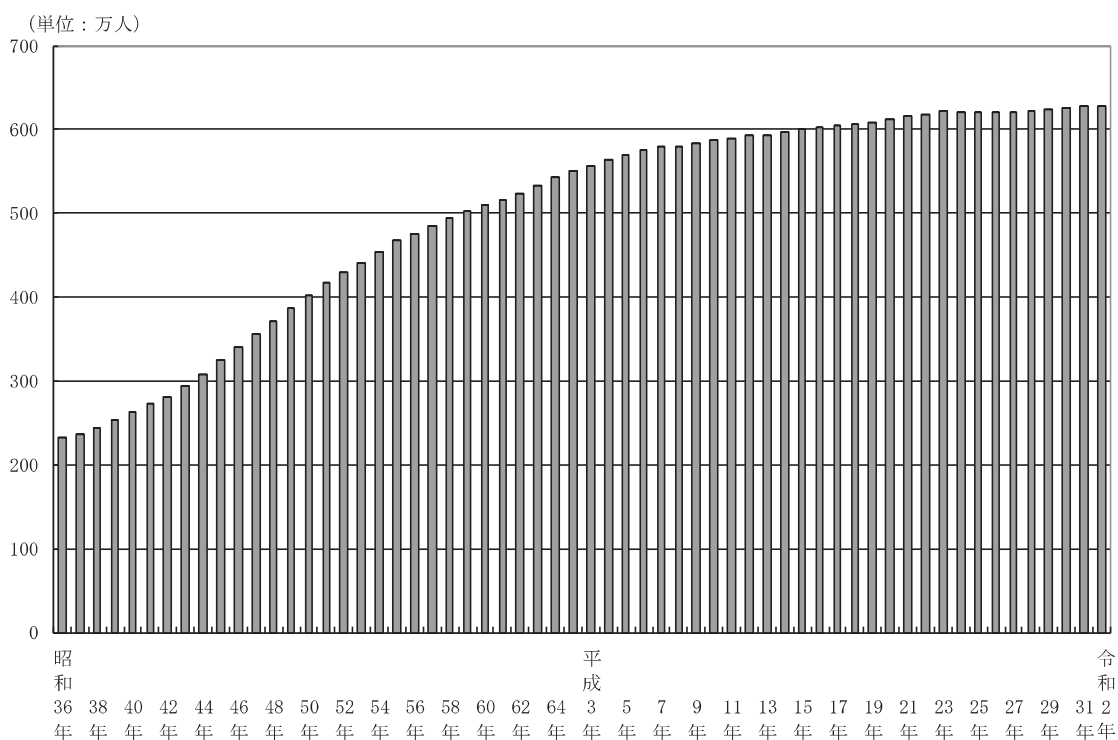
**県人口 628 万人**

令和 2 年 1 月 1 日現在の本県の人口は 6,278,741 人で、前年人口の 6,270,118 人に比べ 8,623 人、率にして 0.14%増加した。本県の人口は、大正 9 年 10 月 1 日現在（国勢調査）1,336,155 人で、その後増加を続け、昭和 49 年 11 月 1 日現在では 400 万人を超えて、4,002,808 人となった。さらに、昭和 58 年 10 月 1 日現在では 500 万人を超え 5,002,542 人となり、平成 14 年 9 月 17 日に 600 万人を突破した。平成 23 年に初めて減少に転じ、平成 25 年まで 3 年連続で減少したが、平成 26 年に再び増加に転じ、以降は令和元年まで引き続き増加している。

平成 27 年国勢調査によると、本県の人口は、6,222,666 人で全国第 6 位となっている。

また、本県の外国人数は令和 2 年 1 月 1 日現在 138,673 人で、前年の 127,029 人に比べ 11,644 人、率にして 9.17%増加しており、県人口の 2.2%を占めている。

図 1 千葉県人口の推移（昭和 36 年～令和 2 年、各年 1 月 1 日現在）



**千葉市人口 98 万人**

**県人口の 15.6%を占める**

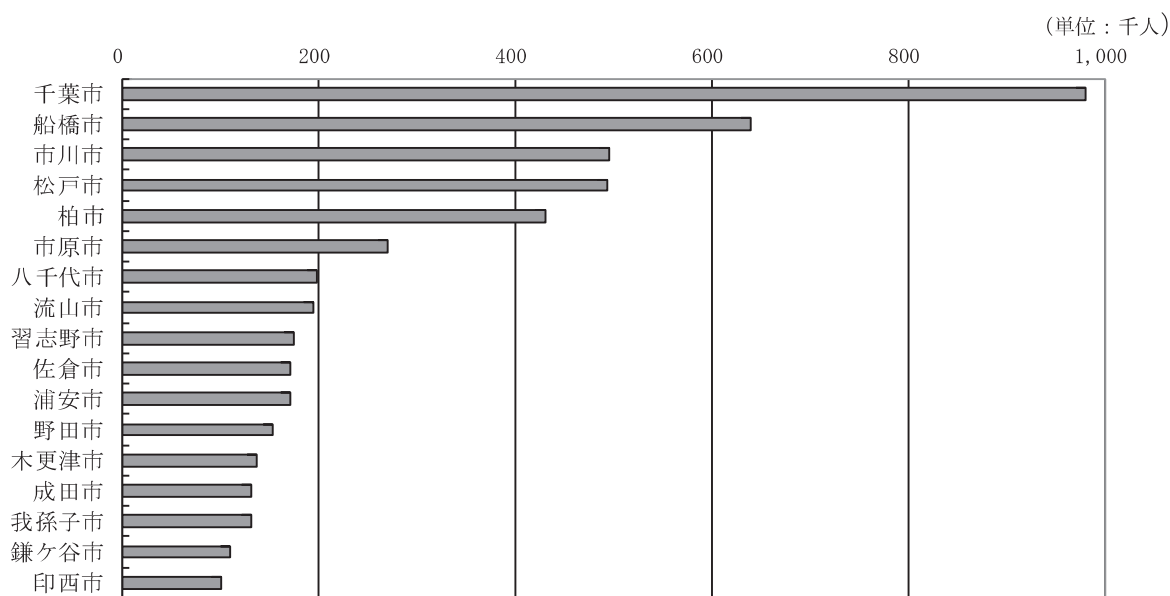
令和 2 年 1 月 1 日現在の県人口を市町村別にみると、市部（37 市）のうち 10 万人以上の市は 17 市あり、そのうち千葉市が 980,219 人（県人口に占める割合 15.6%）で最も多く、郡部人口 198,816 人（同 3.2%）の約 4.9 倍となっている。以下、船橋市 639,662 人（同 10.2%）、市川市 495,639 人（同 7.9%）、松戸市 492,777 人（同 7.8%）、柏市 430,087 人（同 6.8%）の順で続き、この 5 市で

県人口の48.4%を占めている。

郡部（16町1村）では、横芝光町が22,531人（同0.4%）で最も多く、以下、酒々井町20,452人（同0.3%）、栄町20,160人（同0.3%）、九十九里町15,034人（同0.2%）、多古町13,980人（同0.2%）の順となっている。

また、本県の外国人人口を市町村別にみると、千葉市が23,324人（県外国人人口に占める割合16.8%）で最も多く、以下、船橋市16,540人（同11.9%）、松戸市13,876人（同10.0%）、市川市11,898人（同8.6%）、柏市8,454人（同6.1%）の順となっている。

図2 10万人以上の市（令和2年1月1日現在）



## 2. 人口増減

**人口増減数 9千人**  
**増減率 0.14%**

平成31（令和元）年中の本県の人口増減は、増減数8,623人、増減率0.14%で、前年（12,232人、0.20%）より減少した。うち、外国人人口増減は、増減数11,644人、増減率9.17%で、前年（10,193人、8.72%）より増加した。

近年の人口増減率の推移をみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割った。その後、平成23年に初めてマイナスに転じて以降、平成25年（-0.02%）までマイナスが続いたが、平成26年に増加に転じた。

**自然増減数は減少**

平成31（令和元）年中の自然増減は、増減数-20,031人（出生42,133人、死亡62,164人）で、前年の-15,246人（出生44,591人、死亡59,837人）に比べ出生が2,458人減少し、死亡が2,327人増加して自然増減数は4,785人減少した。うち、外国人の自然増減は、増減数1,001人（出生1,250人、死亡249人）で、前年の855人（出生1,091人、死亡236人）に比べ出生が159人増加し、死亡が13人増加して自然増減数は146人増加した。

近年の自然増減を増減率（各年1月1日現在人口に対する自然増減総数の割合）で見ると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移していたが平成23年に初めてマイナスに転じ、平成31（令和元）年も-0.32%となった。

**社会増減数は増加** 平成31（令和元）年中の社会増減は、増減数28,654人（転入206,801人、転出174,326人、県内の移動-300人、その他-3,521人）で、前年に比べ1,176人増加した。うち、外国人の社会増減は、増減数10,643人（転入51,012人、転出34,836人、県内の移動-59人、その他-5,474人）で、前年に比べ1,305人増加した。

前年の増減数27,478人（転入200,419人、転出169,228人、県内の移動-361人、その他-3,352人）と比較すると転入が6,382人増加、転出が5,098人増加、県内の移動が61人増加、その他が169人減少している。また、外国人は前年の増減数9,338人（転入44,526人、転出29,589人、県内の移動-75人、その他-5,524人）と比較すると転入が6,486人増加、転出が5,247人増加、県内の移動が16人増加、その他が50人増加している。

近年の社会増減を増減率（各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合）で見ると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回った。平成23年、24年はマイナスとなったが、平成25年に増加に転じ、平成31（令和元）年は0.46%となった。

図3 人口増減率の推移（昭和36年～平成31（令和元）年）

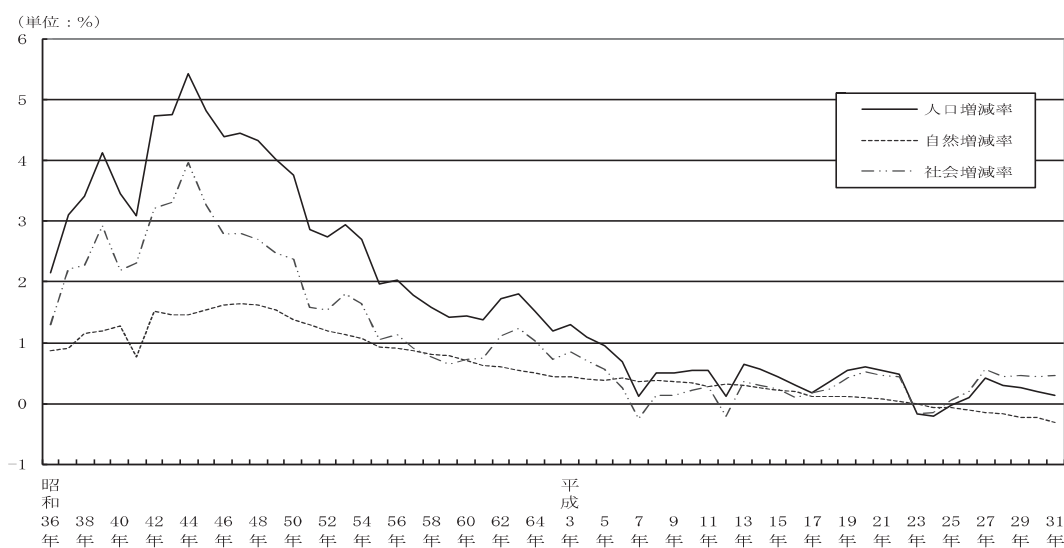


表1 月別動態別人口増減数（平成31（令和元）年中）

	人口増減数	自然増減		社会増減					
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-1,960	-3,059	3,747	6,806	1,099	12,646	11,106	-168	-273
2月中	-1,955	-2,312	3,221	5,533	357	12,793	12,050	-288	-98
3月中	1,314	-1,742	3,269	5,011	3,056	35,113	30,734	-884	-439
4月中	8,847	-1,598	3,247	4,845	10,445	29,798	19,844	749	-258
5月中	1,696	-1,414	3,869	5,283	3,110	16,076	12,985	309	-290
6月中	-108	-986	3,308	4,294	878	13,978	12,727	-140	-233
7月中	786	-1,223	3,791	5,014	2,009	16,134	13,659	101	-567
8月中	-979	-1,221	3,638	4,859	242	14,359	13,725	-28	-364
9月中	1,267	-1,233	3,593	4,826	2,500	15,345	12,420	-183	-242
10月中	938	-1,532	3,666	5,198	2,470	15,076	12,551	190	-245
11月中	-790	-1,812	3,358	5,170	1,022	12,287	11,050	-47	-168
12月中	-433	-1,899	3,426	5,325	1,466	13,196	11,475	89	-344
計	8,623	-20,031	42,133	62,164	28,654	206,801	174,326	-300	-3,521

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

**14市で人口増加**

**最高増減率は流山市 2.60%**

平成 31 (令和元) 年中の人口増減を市町村別にみると、14 市で人口が増加し、40 市町村で減少した。増加数では流山市が 4,942 人で最も多く、以下、柏市 4,892 人、船橋市 3,340 人、市川市 2,656 人、千葉市 2,467 人と続いている。逆に、減少数では香取市が 1,367 人で最も多く、以下、銚子市 1,357 人、市原市 1,354 人、君津市 926 人、八街市 834 人の順となっている。

また、増加率では流山市が 2.60% で最も大きく、以下、印西市 2.23%、柏市 1.15%、袖ヶ浦市 1.07%、四街道市 0.89% と続いている。逆に、減少率では鋸南町が 3.03% で最も大きく、以下、長柄町 2.82%、長南町 2.25%、銚子市 2.25%、勝浦市 2.17% の順となっている。

**表2 人口増減数上位5市町村（平成27年～平成31（令和元）年）**

順位	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年	
	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人
1	市川市	9,299	流山市	4,389	流山市	4,823	流山市	5,074	流山市	4,942
2	千葉市	5,487	市川市	4,184	船橋市	4,580	船橋市	4,081	柏市	4,892
3	柏市	5,275	船橋市	4,128	市川市	3,861	柏市	3,595	船橋市	3,340
4	船橋市	3,872	柏市	3,689	柏市	3,743	市川市	2,931	市川市	2,656
5	流山市	3,525	習志野市	3,023	千葉市	2,226	千葉市	2,217	千葉市	2,467

順位	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年	
	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人
1	市原市	2,002	銚子市	1,191	市原市	1,386	銚子市	1,374	香取市	1,367
2	香取市	1,053	香取市	1,033	銚子市	1,297	市原市	968	銚子市	1,357
3	銚子市	960	君津市	895	香取市	1,144	八街市	947	市原市	1,354
4	君津市	952	八街市	707	君津市	948	香取市	933	君津市	926
5	匝瑳市	887	山武市	704	旭市	826	君津市	793	八街市	834

**表3 人口増減率上位5市町村（平成27年～平成31（令和元）年）**

順位	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年	
	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %
1	流山市	2.05	流山市	2.50	流山市	2.68	流山市	2.74	流山市	2.60
2	市川市	1.97	印西市	2.39	印西市	2.13	印西市	2.07	印西市	2.23
3	木更津市	1.59	習志野市	1.79	袖ヶ浦市	0.97	袖ヶ浦市	1.26	柏市	1.15
4	八千代市	1.32	浦安市	1.53	四街道市	0.96	四街道市	0.93	袖ヶ浦市	1.07
5	睦沢町	1.31	柏市	0.89	八千代市	0.90	浦安市	0.89	四街道市	0.89

順位	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年	
	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %
1	白子町	2.74	勝浦市	2.72	長南町	2.76	芝山町	2.66	鋸南町	3.03
2	鋸南町	2.72	九十九里町	2.10	勝浦市	2.73	鋸南町	2.55	長柄町	2.82
3	御宿町	2.62	大多喜町	1.86	九十九里町	2.50	大多喜町	2.37	長南町	2.25
4	匝瑳市	2.33	銚子市	1.86	銚子市	2.06	勝浦市	2.23	銚子市	2.25
5	長柄町	2.09	鋸南町	1.71	鋸南町	1.94	銚子市	2.23	勝浦市	2.17



図4 市町村別人口増減率（平成31年1月～令和元年12月）



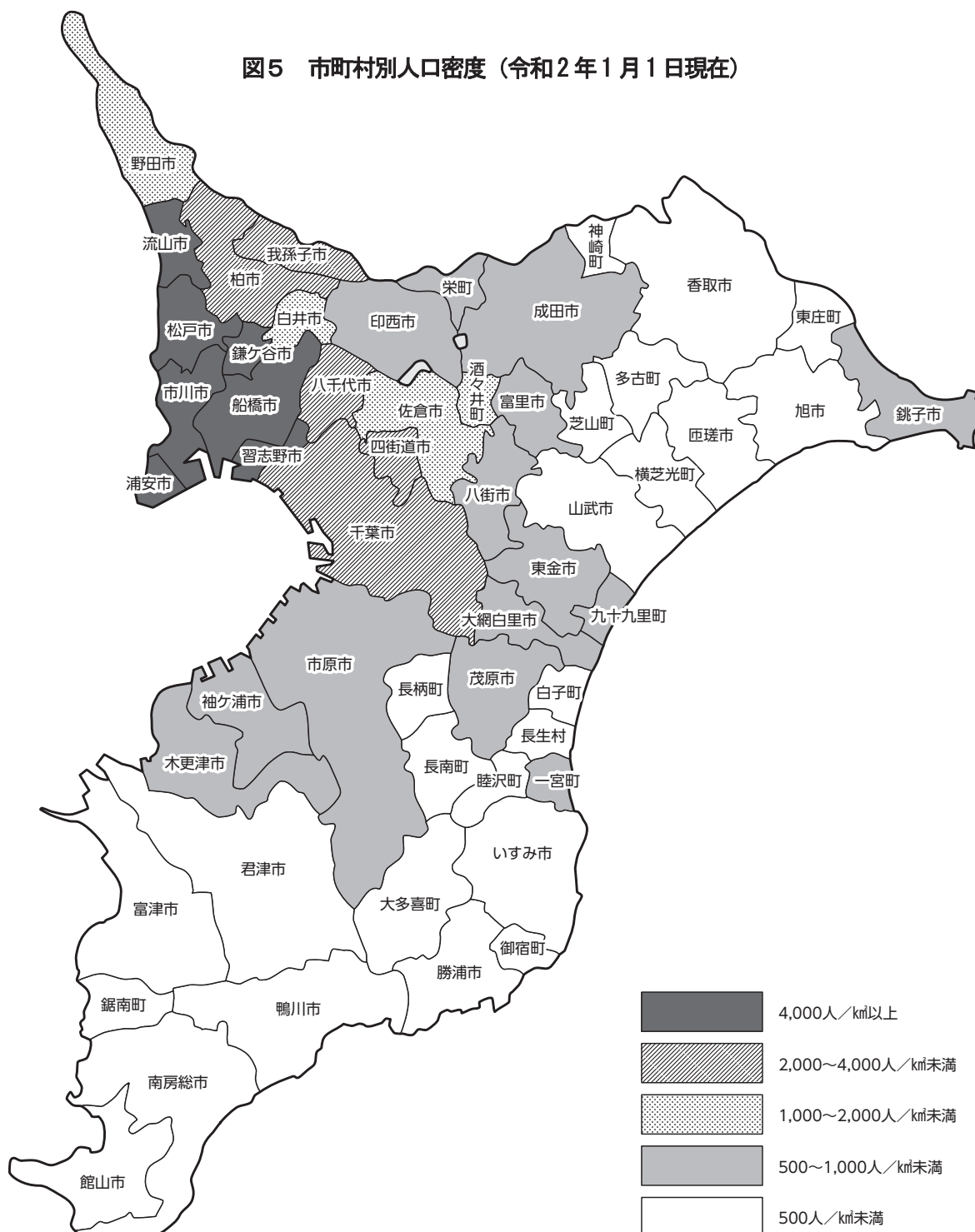
### 3. 人口密度

**県人口密度 1,217.4 人/km<sup>2</sup>**  
**市町村別人口密度は浦安市が 9,849.7 人/km<sup>2</sup>で最高**

本県の人口密度は、令和2年1月1日現在 1,217.4 人/km<sup>2</sup>で、前年の人口密度 (1,215.7 人/km<sup>2</sup>) に比べ 1.7 人/km<sup>2</sup>高くなった。市郡別にみると、市部 1,380.1 人/km<sup>2</sup>、郡部 264.4 人/km<sup>2</sup>で、市部は郡部の約 5.2 倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が 9,849.7 人/km<sup>2</sup>で最も高く、以下、市川市 8,627.3 人/km<sup>2</sup>、習志野市 8,287.6 人/km<sup>2</sup>、松戸市 8,028.3 人/km<sup>2</sup>、船橋市 7,470.9 人/km<sup>2</sup>と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町 69.5 人/km<sup>2</sup>、長南町 114.6 人/km<sup>2</sup>、長柄町 144.8 人/km<sup>2</sup>、南房総市 157.4 人/km<sup>2</sup>、鋸南町 161.4 人/km<sup>2</sup>の順となっている。

図5 市町村別人口密度 (令和2年1月1日現在)



#### 4. 世帯数

県世帯数 277 万世帯  
1 世帯当たり人員は 2.27 人

令和 2 年 1 月 1 日現在の本県の世帯数は 2,768,891 世帯

で、前年の世帯数 2,730,901 世帯に比べて 37,990 世帯増加し、増減率では 1.39% となり、人口増減率 0.14% よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.27 人で、前年の 2.30 人に比べ 0.03 人減少した。

また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 2.84 人が最も多く、以下、芝山町 2.77 人、睦沢町 2.77 人、匝瑳市 2.72 人、印西市 2.69 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.03 人で、以下、勝浦市 2.07 人、浦安市 2.12 人、松戸市 2.14 人、船橋市 2.20 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 14 市町で、多いのは 40 市町村となっている。

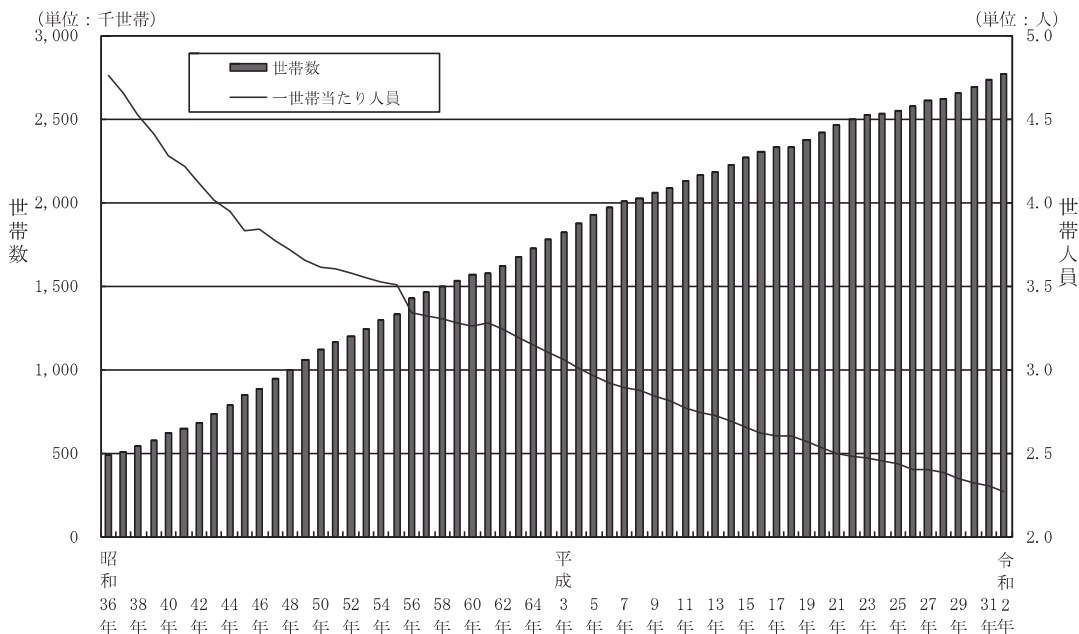
表 4 月別世帯増減数（平成 31（令和元）年中）

（単位：世帯）

	増減数	転入	転出	その他
1月中	463	8,695	6,855	-1,377
2月中	652	8,782	7,349	-781
3月中	10,966	24,087	14,437	1,316
4月中	11,522	20,615	10,404	1,311
5月中	3,208	11,317	7,446	-663
6月中	1,810	9,753	7,619	-324
7月中	1,979	10,776	8,338	-459
8月中	592	9,475	8,300	-583
9月中	2,781	10,964	7,604	-579
10月中	2,367	10,707	7,941	-399
11月中	778	8,623	6,940	-905
12月中	872	8,937	7,121	-944
計	37,990	142,731	100,354	-4,387

注）その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図 6 世帯数及び世帯人員数の推移（昭和 36 年～令和 2 年、各年 1 月 1 日現在）



## 5. 県外との人口移動

**人口移動総数 38万1千人**

**移動率 6.07%**

と、前年の5.90%に比べて0.17ポイント上昇した。

平成31（令和元）年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、381,127人で前年の369,647人に比べ11,480人増加し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.07%

**3万2千人の転入超過**

**転入超過率 0.52%**

また、平成31（令和元）年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.52%となり、前年の0.50%に比べて0.02ポイント上昇した。

平成31（令和元）年中の県外からの転入者数は206,801人（前年200,419人）、転出者数は174,326人（同169,228人）で、転入超過数は32,475人（同31,191人）となった。

なお、県外（46都道府県）との関係は、41道府県から転入超過となり、5都県へ転出超過となっている。

**表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成12年～平成31（令和元）年）**

年次	移動数	移動率	転入超過数 (－は転出超過)	転入超過率 (－は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成12年	402,748人	6.78%	13,754人	0.23%	208,251人	194,497人	5,943,886
13年	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944
25年	327,570	5.29	6,982	0.11	167,276	160,294	6,191,925
26年	328,341	5.30	15,435	0.25	171,888	156,453	6,195,734
27年	348,343	5.61	21,979	0.35	185,161	163,182	6,207,032
28年	347,940	5.58	28,964	0.46	188,452	159,488	6,239,018
29年	359,831	5.75	30,169	0.48	195,000	164,831	6,254,216
30年	369,647	5.90	31,191	0.50	200,419	169,228	6,267,917
平成31(令和元)年	381,127	6.07	32,475	0.52	206,801	174,326	6,277,952

**表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成27年～平成31（令和元）年）**

順位	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	茨城県	1,363人	茨城県	1,657人	茨城県	1,292人	茨城県	1,512人	茨城県	1,018人
2	福岡県	1,220	大阪府	1,200	福岡県	1,200	大阪府	1,276	大阪府	1,000
3	北海道	1,142	福岡県	1,127	大阪府	886	福岡県	1,002	福岡県	966
4	大阪府	886	兵庫県	911	宮城県	805	宮城県	892	愛知県	956
5	兵庫県	882	北海道	816	青森県	709	北海道	681	兵庫県	836
順位	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	5,760人	東京都	1,953人	東京都	1,165人	東京都	1,939人	東京都	2,374人
2	神奈川県	542	埼玉県	887	埼玉県	646	神奈川県	1,135	神奈川県	1,886
3	埼玉県	516	神奈川県	65	神奈川県	559	埼玉県	936	埼玉県	1,298
4			群馬県	13	群馬県	86	鳥取県	14	滋賀県	58
5			三重県	12					沖縄県	9